

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016年度（後期） 指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進の
ための多職種研修会への助成」

完了報告書

テーマ

「在宅ケアネット堺 地域ケアフォーラム
多職種で支える「食」支援」

申請者：梶原崇志

所属機関：在宅ケアネット堺

提出年月日：平成28年9月30日

この度は、貴重な助成金を賜り誠にありがとうございました。

今回は、地域の在宅現場においてどのように食支援を拡大するかという観点から、以下のようなプログラムを企画・実行しました。

今回は、「来場し、お話を聞いて終わり」ではなく、来られた方が地域に色々なものを持ち帰り、具体的なアクションに繋がるような仕組みにしたいと考えていました。

具体的な手法として、講演・ディスカッションの後、多職種のテーブルで皆に座って貰い、グループワークを行いました。

開催概要

日時：平成 28 年 9 月 17 日（土） 14:30 ～ 18:00

場所：御堂筋ホール

プログラム

14:30 ～ 悠翔会における食支援の取組みについて

講師：佐々木 淳 （医療法人悠翔会 理事長）

15:40 ～ パネルディスカッション 地域における食支援の課題とは？

座長：上村久美子 （医療法人橘会）

パネラー

①：大谷 学 （医療法人 大谷歯科、歯科医師）

②：田貝 泉 （南港病院、管理栄養士）

③：時岡 奈穂子 （はみんぐ南河内、管理栄養士）

④：藤岡 誠二 （フリーランス言語聴覚士）

⑤：佐々木 淳 （医療法人悠翔会 医師）

16:20 ～ グループワーク

①「どうすれば食支援が広がるか」

②「自分たちに何が出来るか？」

17:40 ～ Closing Remarks

太田医院 太田俊輔氏

在宅ケアネット県・地域ケアフォーラム

多職種で支える! 食支援

平成 26年 9月 17日 (日曜) 14:00 ~

高波御堂防ホール (8A) 100名

注: 県・在宅ケアネット費 (参加費: 5,000円 (税別) 別途会場利用料あり)
この事業は、19年度地域ケア・連携推進事業「地域ケアフォーラム」の一環として実施します。

【概要】
 在宅ケアネット事業推進部 編成課

第一部 講演
 『協働における食支援の取り組みについて』
 医療法人協賛会 理事 部長 藤原 貴之 氏

第二部 関西式 ホンネセッション
 『地域における食支援の課題』
 講師 上野 久美子 氏 (医療法人協賛 万寿寺 / 介護支援専門員)
 (パネリスト)
 大塚 孝 氏 (医療法人文芸堂 / 養老員)
 松本 洋 氏 (医療法人協賛会 / 医師)
 藤原 貴 氏 (医療法人三友会 高津病院 / 助産師)
 藤岡 由穂子 氏 (ほみんでん共同代表 / 管理栄養士)
 藤岡 誠二 氏 (フュータス / 管理栄養士)
 Closing Remarks:
 大塚 孝 氏 (医療法人文芸堂 / 養老員)

懇談会 (高波御堂防ビルディング18A会場) 18:00 ~

問い合わせ先: 地域ケアステーション8160代 地域ケアフォーラム実行委員会 在宅ケアネット部 FAX: 072(25)712811

作成したチラシ





当日の様子

感想

佐々木先生の講義では、東京における先進的な取り組みと、栄養ケアの重要性をお話頂きました。聴講者は、実際に栄養ケアをされているお話を聴いて、大いに刺激を受けました。

パネルディスカッションでは、歯科医師、管理栄養士、言語聴覚士の立場から、地域における課題を語りました。また、どうして地域で食支援が進まないのか、色々な話題が出

ました。（管理栄養士雇用の採算性の問題、他職種の不理解等）。聴講者は、地域における課題を理解しました。

グループワークでは、各テーブルに分かれ、多職種で議論しました。最初はぎこちない雰囲気でしたが、地域における課題は何か、明日から何が出来るか、を真剣に議論するうちに、参加者は打ち解け合いました。

フォーラム終了後もインターネット上で積極的に相互に情報発信しました。

今回のフォーラムの狙いは、想定通りの効果がありました。来場者の感想で最も多かったのは、「色々な方と知り合いになれ、有意義だった、明日から何かやってみたい」というものでした。

今回の事業を通じ、大阪の食支援の多職種連携について、微力ながら寄与できたのではないかと思います。

当事業は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による資金で運営されました。